国立大学法人 愛知教育大学ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言

国立大学法人愛知教育大学は、明治６（1873）年の愛知県養成学校の設立以来、未来を担う子どもたちの成長に寄り添う教員の育成に力を尽くし、地域とともに歩む教員養成大学として教育・研究の発展を続けてきました。

本学は、すべての構成員が互いの背景や価値観を尊重し、安全・安心かつ包摂的な環境の中で学び・働き・成長できることを、教員養成大学としての重要な使命と位置づけています。

そして、多様な子どもたち一人ひとりと向き合う力を備えた教員および教育支援専門職等を育てるため、地域社会と協働しながら、多様性を理解して生かすインクルーシブ教育や共生社会の実現に貢献します。

【基本方針】

１．多様性（ダイバーシティ）の尊重 ― 子どもに寄り添う教育関係者の原点として

人種、国籍、性別、性自認・性的指向、年齢、障害、宗教、文化、価値観など、さまざまな多様性を尊重するとともに、偏見や差別を許さず、誰もが尊厳をもって過ごせる環境づくりを推進します。

特に、子どもたちの学びや成長に寄り添う本学の理念を踏まえ、「子ども理解」や「教育的配慮」の視点を基盤とし、多様性に気づき、受けとめ、尊重する姿勢を育む学修環境を整備します。

２．包摂的な教育・研究環境の創出 ― インクルーシブ教育の実践者を育てるために

すべての構成員が自由に意見を表明し、互いの学びを尊重しながら挑戦できるインクルーシブな環境を整えます。

ハラスメントの防止を徹底し、安全で安心できるキャンパス環境の整備に取り組みます。併せて、特別支援教育や多文化共生教育など、現代の教育現場に求められる多様な視点を育み、教育の質の向上を図ります。

また、子育て、介護、療養等のライフイベントや多様な生活状況にかかわらず、すべての構成員が学び・働き続けることができるよう支援するとともに、ワーク・ライフ・バランスの実現と心身の健康の維持・向上に配慮した環境整備に取り組みます。

３．公平な機会の保障 ― 構成員としての公正性と倫理観を育む

入学、採用、人事、評価など、さまざまな活動及びプロセスで公平性、公正性及び透明性を確保し、一人ひとりの能力が正当に評価される仕組みの確保に努めます。

愛知教育大学に所属する構成員としての公正な判断力と倫理観を醸成するとともに、すべての構成員が自身の可能性を最大限に発揮できる環境を追求します。

４．教育・啓発の推進 ― 多様な子どもと向き合う力量形成のために

ダイバーシティ&インクルージョンに関する研修や学習の機会を継続的に提供し、互いに学び合う教育コミュニティを形成します。

構成員の学びや理解を深める活動を推進するとともに、多様な子どもや家庭の状況を理解し、一人ひとりに寄り添う姿勢や実践力を身につけられるよう支援します。

５．地域・社会への貢献 ― 教員養成大学としての使命の継承

地域の学校や教育機関と連携し、多様性を尊重する教育の実践に寄与します。

教育現場と協働しながら、多様性を生かす教育実践を研究・発信し、地域に根ざした教員養成大学としての社会的使命を果たします。

国立大学法人愛知教育大学は、この宣言のもと、多様性を『未来を創る力』と捉え、すべての構成員が尊重され、その個性と能力を発揮できる大学を目指すとともに、あらゆる子どもたちの学びや成長を支える教育関係者をはじめ、共生社会の実現に貢献する多様な人材を育成し続けることを、ここに宣言します。